

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は、変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

<p>&lt;エントリーシート&gt;</p> <p>※事務局記入欄</p> <p>No. : D - 1</p>	<p>部門 先導的プログラム実践部門</p>	<p>学校名・氏名 大阪教育大学大学院連合教職実践研究科 ※研修成果活用部門は、学校名及び個人名を、それ以外の部門は、学校名を記載してください。</p>
<p>活動名 ICT 推進リーダーの養成 教職大学院と教育センターとの連携 主タイトル (12 文字以内) 副タイトル (16 文字以内) ※どのような課題をどのような手法で解決したのか、わかりやすく伝える案件名を記入してください。</p>		

**課題の設定 :** ※活動を行う前に、課題や目標をどのように設定しましたか？視点などを含めて記載してください。

これまで、大阪市では ICT を活用した教育を全市展開しようとしてきたが、自治体規模が大きく、その普及には課題がある。そこで、大阪教育大学が大阪市教育センターと連携し、協働で双方の研修資源（学問的・実践的・人的資源等）を組み合わせ、各学校や地域で研修を通して ICT 活用教育の普及を図ることのできる「学校教育 ICT 推進リーダー」養成プログラムを開発し、実施した。

**方針・計画 :** ※課題を解決するために仮説を立てて、活動内容を組み立てたのか、記載してください。

大阪教育大学大学院の講義「ICT 環境の活用」と大阪市教育センターの ICT フロンティア研修を組み合わせれば、双方の資源を活用した研修を開発できる。また、既存の講義や研修を活用することで、教職大学院や教育センターの負担に繋がらず実施できるのではないかと考えた。

**活動内容 :** ※方針・計画に基づいてどのような活動を行ったか、また、複数の活動を展開した場合はその位置づけや関連性を記載してください

表 1 のように、①既存の教員研修（ICT フロンティア研修）を再デザインしたもの、②教職大学院での講義、③事前に対面指導を行った上でのオンライン研修、④受講生単独の研修、⑤修了認定試験（模擬研修）を組み合わせ実施した。既存の①と②（全体の 3 分の 2 にあたる）を活用し開発の負担を減らした。一方で、⑤のような実践的な場を組み込み、他の市内教員への効果も考慮した。

**活動の成果 :** ※課題や目標に対し、どんな影響、変化あったか、職員や参加者の声など客観的な情報・データとともに記入して下さい。

2017 年度受講生に関しては、教育の情報化についての知識、教員研修を企画・運営するスキルいずれに関しても、自己評価が大きく向上した（グラフ 1）。研修についての評価も 4 件法で各項目 3.5 以上の評価を得ることができた。推進リーダー認定のために、模擬研修を実践してもらったが、模擬研修の受講生役を務めた教員からも高い評価が得られ（グラフ 2）、数名は次年度の研修を受講するなどの発展につながっている。これらの成果をもとに、2018 年度も実施中であるが、学校教育 ICT 推進リーダー受講生だけではなく、大阪教育大学の院生からも肯定的な評価を得ている（グラフ 3）。

**アピールポイント（アイデアや工夫） :** ※3～5 つ程度の箇条書きしてください

1. 教職大学院の講義の一部を、大阪市の研修として受講させ、効果・効率的に実施している。
2. 教職大学院の講義で、現職教員と学部卒院生が交流し、双方の刺激になっている（グラフ 3）。
3. 修了生は、自校での研修を実施したり（写真 1）、ICT 活用研究校として推進役を担ったり、プログラミング教育等のモデル校において中核的なメンバーとして活躍している。
4. 本研究の成果をきっかけとして、大阪市教員養成協働研究講座が教職大学院に設置された。
5. 2018 年度より大阪教育大学の科目等履修生として受講できるようになり、単位認定されることになった（受講生が将来教職大学院へ入学することが期待できる）。

<写真、図表添付欄>

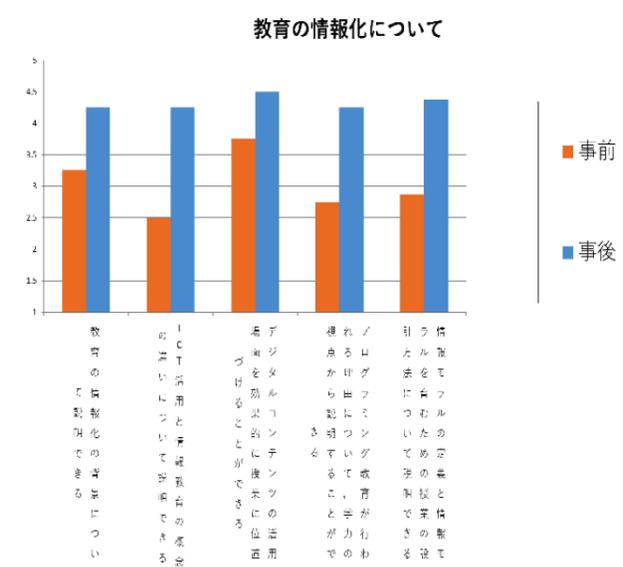
表 1 プログラムの実際

時期	大阪教育大学 連合教職大学院講義	<本申請事業> 学校教育ICT推進リーダー研修	大阪市 ICTフロンティア研修
6月		①教育の情報化の動向に関する講義	
8月	②集中講義「ICT環境の活用」における講義・演習・議論		
9月		①研修デザインに関する講義	
		③研修デザインに関する演習（オンライン）	
10月		④研修ファシリテーションに関する演習	
		③模擬研修の設計と準備（オンライン）	
12月	模擬研修の受講（希望者のみ）	⑤模擬研修の実施（合格すれば修了認定）	模擬研修の受講

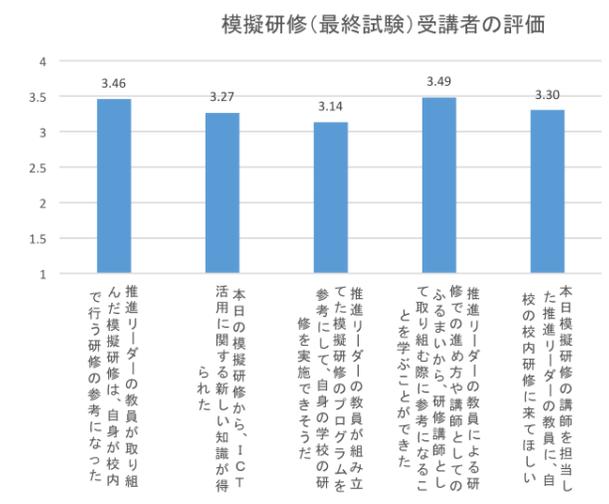
写真 1 自校で校内研修を行う推進リーダー修了生



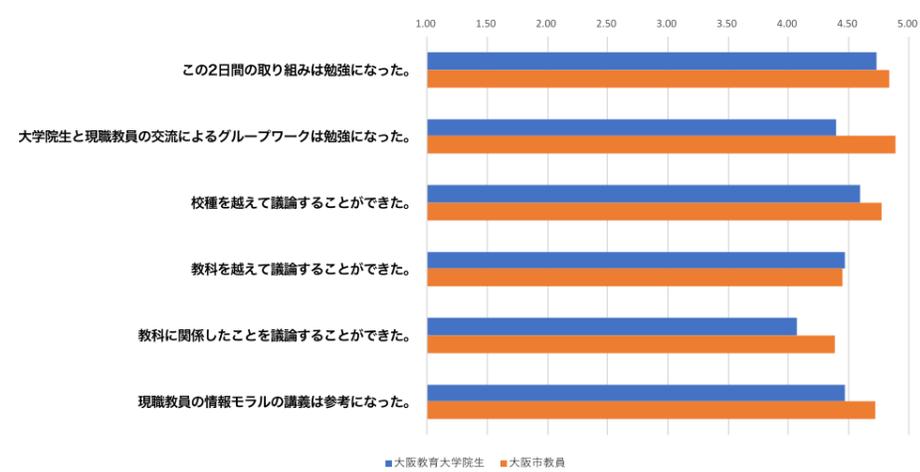
グラフ 1 アンケート結果（5 件法：事前・事後比較）



グラフ 2 模擬研修受講者の評価（4 件法）



グラフ 3 大学院生と現職教員が交流した取り組みへの評価（5 件法）（2018 年度）



※一番下の情報モラルの講義を担当した現職教員は 2017 年度学校教育 ICT 推進リーダー修了生